

## 国学とは？

赤松咲

今、中国では国学ブームなのをご存知ですか？もともと、「国学」という言葉は日本からきたもので、それが再見直しされています。私の中国人の友人の多くは、大学院生として、また博士として国学の研究をしています。私も何度かその授業や講座を聴講したことがあります。今回はその一部始終をご紹介しますと思います。

国学を説明するにあたり、三つの基本概念があります。

- 1、中国人としての自尊や自信を取り戻すこと
- 2、西洋価値観の衝撃に答えること
- 3、中国人の未来への計画能力を修復する

以上の三つの概念は中国語での聴講内容を直訳したものです。（訳に違和感が感じられると思われます。申し訳ありません。）

- 1、 中国人としての自尊や自信を取り戻すこと

“「国学」という言葉は、日本から伝わった。中国の伝統的な文化と学術の研究を主な内容とする中国の「国学」は、20世紀の初めに興り、1920年代から30年代にかなり急速に発展した。その後、「国学」は低調になり、とりわけ1960年代から70年代にかけての「文化大革命」では、古い文化と孔孟の道が批判され、これによってさらに「国学」は低迷した。改革・開放後の80年代から90年代には、社会・経済の発展に伴って、人々の間で自らの文化のルーツを探すブームが起こり、「国学」を再建し、「国学」の中から伝統文化の精髓を吸収したいと人々は望むようになった。しかし、現在の「国学」ブームに対しては、学界の中に違った見方もある。”（<http://www.peoplechina.com.cn/maindoc/html/200701/46zhuanwen46.htm> : 参照） 以上の文章にあるように、現在「国の学問」である国学を通して中国が再見直しされています。

- 2、西洋価値観の衝撃に答えること

現在、世界の価値基準は西洋的な価値観に基づいています。例えば、世界中で英語教育ブームであることは西洋的価値観の影響のひとつではないでしょうか。世界を席卷する西洋的なものと比較する上で、我々の国のもつ価値観とは何か、その何かを分かった上でまた新しい何か分かるのではないだろうか、ということが国学を学ぶ上で求められています。

### 3、中国人の未来への計画能力を修復する

中国は今、国の発展の為に皆が一体となり良い未来を築こうと必死です。中国の新聞紙には必ずといっていいほど、「国の未来のために」というようなスローガンを見つけることができます。例えば、子供の教育に対する政府の取り組みについてなどの記事には、その良い政策こそが良い未来をつくるという風にかかれています。その上で、国学を学び、中国を改めて見つめ直す行為は欠かせないものなのでしょう。

以上国学について、(私の理解がまだまだ及ばない部分が沢山ありますが) 一部紹介をしてきました。国学は思想のみならず、書道、絵画、歌、詩などの研究も含む幅広い学問です。これからもまた紹介していきたいと思います。



講演会場の様子



講演の様子



展示されていた首の無い像

2015/06/10